



2024年9月13日

各位

会社名 ENECHANGE 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 丸岡 智也
(コード番号: 4169 東証グロース)
問合せ先 上級執行役員 CFO 篠原 雄一郎
(TEL 03-6635-1021)

(訂正) 「2024年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び
「事業計画及び成長可能性に関する事項」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、本日、2023年7月16日開示の「2024年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び2024年9月2日公表の「事業計画及び成長可能性に関する事項」の一部を訂正することを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

当社運営のエネルギープラットフォーム事業のKPIとして、ユーザー数を開示しており、2024年3月末時点のユーザー数を608,108件としておりましたが、集計に誤りがあり正しくは586,402件であり、それに伴い、ユーザー数に加えARPU(ストック売上)及びARPU(フロー売上)の訂正を行うこととなりました。

2. 訂正の内容(訂正箇所は下線で表示)

訂正箇所は以下のとおりであります。

<2024年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)>

○添付資料2ページ 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明

①エネルギープラットフォーム事業

【訂正前】

「エネルギープラットフォーム事業」においては、家庭向け・法人向け共に切替件数が堅調に推移した結果、継続報酬対象ユーザー数は前年同四半期比 29.9%増の608,108件となりました。また電力価格の高騰や電力各社の業績回復により、当四半期のARPU(注3)(ストック収益)は 632円となり、ARPU(フロー収益)は 19,161円となりました。以上の結果、セグメント売上高は1,054,074千円(前年同期比29.8%増)、セグメント利益は36,991千円(前年同期比76.9%減)となりました。

【訂正後】

「エネルギープラットフォーム事業」においては、家庭向け・法人向け共に切替件数が堅調に推移した結果、継続報酬対象ユーザー数は前年同四半期比 25.3%増の586,402件となりました。また電力価格の高騰や電力各社の業績回復により、当四半期のARPU(注3)(ストック収益)は 662円となり、ARPU(フロー収益)は 50,156円となりました。以上の結果、セグメント売上高は1,054,074千円(前年同期比29.8%増)、セグメント利益は36,991千円(前年同期比76.9%減)となりました。

<事業計画及び成長可能性に関する事項>

16 ページ 「2024年12月期第1四半期 各セグメントKPIは好調な滑り出し」

【訂正前】

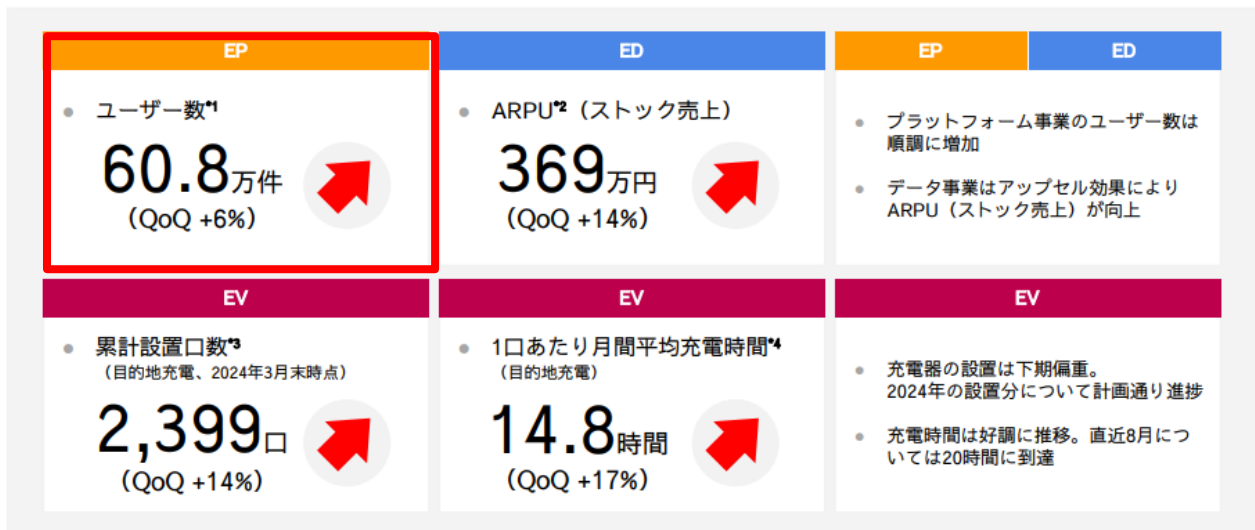
ユーザー数 60.8 万件 (QoQ+6%)

【訂正後】

ユーザー数 58.6 万件 (QoQ+2%)

該当スライドは以下となります。

2024年12月期 第1四半期 各セグメントKPIは好調な滑り出し



*1 家庭および法人（一般家庭換算）ユーザー数の合計。法人の一般家庭換算は、一般家庭の容量を4kWとし総獲得容量から割り戻して計算
*2 Average Revenue Per User：四半期セグメント売上高を四半期末の顧客数で除して算出；ARPU（フロー売上）はフロー売上÷顧客数、ARPU（ストック売上）はストック売上÷顧客数で算出
*3 EVsmartの「EV充電器の統計情報」より6kW充電スポットのみを抽出して作成（基礎充電は含まず）
*4 1口あたりの月間平均充電時間 / 720時間（24時間 × 30日）にて計算（%）

23 ページ 「プラットフォーム事業 KPI」

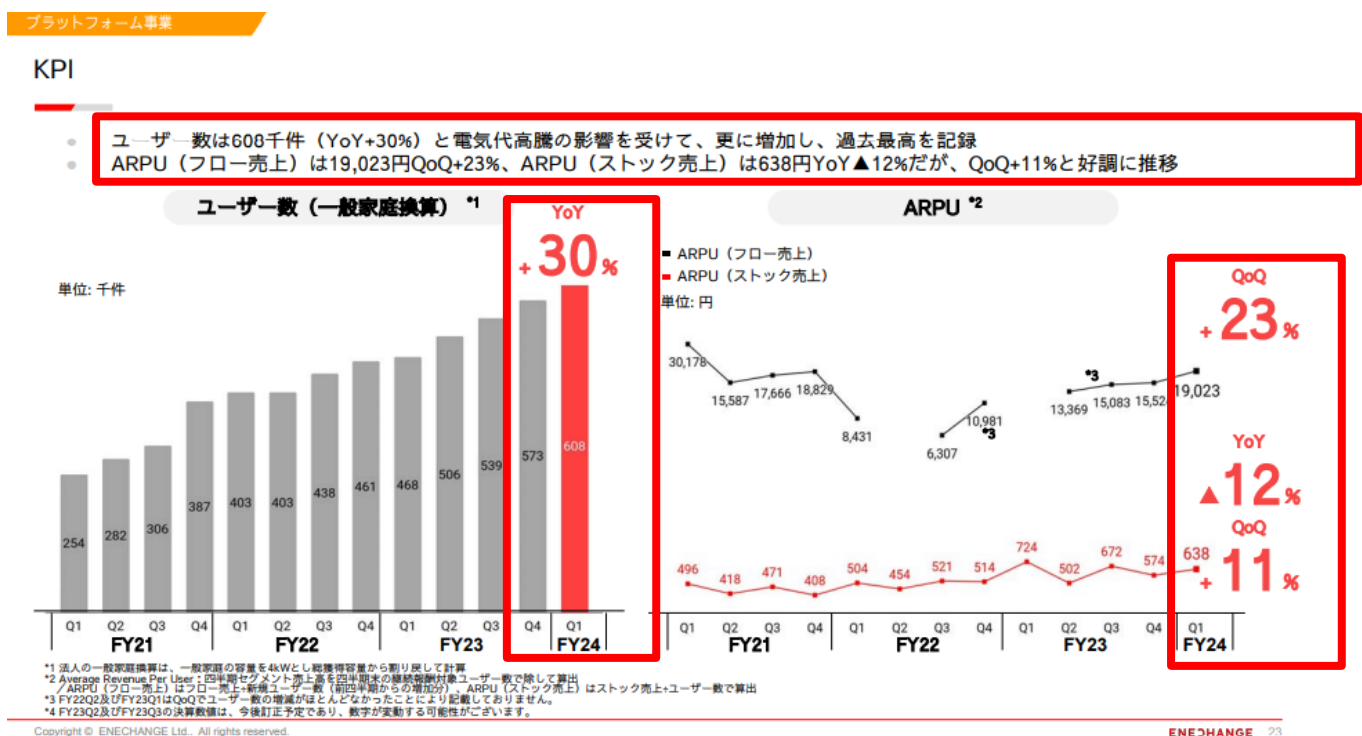
【訂正前】

- ・ユーザー数は 608 千件 (YoY+30%) と電気代の高騰を受けて、更に増加し、過去最高を記録
- ・ARPU (フロー売上) は 19,023 円 QoQ+23%、ARPU (ストック売上) は 638 円 YoY▲12%だが、QoQ+11%と好調に推移

【訂正後】

- ・ユーザー数は 587 千件 (YoY+25%) と電気代の高騰を受けて、更に増加し、過去最高を記録
- ・ARPU (フロー売上) は 50,156 円 QoQ+223%、ARPU (ストック売上) は 662 円 YoY▲9%だが、QoQ+15%と好調に推移

該当スライドは以下となります。



この度は、株主、投資家の皆様をはじめ関係者の方々には、多大なご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

以上